

令和5年度 武蔵村山市立学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立第十小学校

校長名 中村 清敬

【教育目標】

- ◆ やる気いっぱい <自分で考える子>
- ◆ 笑顔いっぱい <自分も友達も大切にする子>
- ◆ 力いっぱい <じょうぶでたくましい子>

1 目指す特色ある学校像

『子供と大人がいつも寄り添い、共に学び、一人一人が成長を実感できる学校』

- (1) 児童一人一人が自信をもち、学びのエンジンを動かして伸びる喜びをつかむ。
- (2) 朗らかな気持ち(心)で、自分も他人も大切にする。(相手の心をよむ)
- (3) 体力向上の活動に自分から進んで参加し、健康でたくましい体をつくる。

合言葉 = 「スマイル&ポジティブ」

2 経営の具体策

- 学びに向かう姿勢を育てる — 《**学びのエンジンを動かす**》 —
 - ・ **課題解決的な学習**を推進し、考える力を養う。(算数：毎時間の実施)
 - ・ **形成的評価を重視**した授業により、学習効果を高める。(日常的なノート活用100%)
 - ・ 「**字を丁寧に書く**」日常の指導を通じて、学びの質を向上させる。(毎週1回の検定)
- 自己肯定感を高める — 《**自分が好き みんなが好き**》 — **いじめを許さない校風作り** —
 - ・ **道徳授業の充実**や『全校道徳』の実施により**心の教育を推進**する。(全校道徳：学期2回)
 - ・ 通年の『**挨拶運動**』や、日常の挨拶促進により、豊かな人間性を涵養する。(毎朝の実施)
 - ・ 「**椅子を入れる**」指導を常時行い、他者視点の意識を育てる。(月1回のチェックリスト点検)
- 生涯教育の土台作り — 《**体を動かす楽しさを実感**》 —
 - ・ 運動量を確保するなど**体育授業を充実**させ、逞しい体をつくる。(運動時間：実質27分)
 - ・ **長縄跳びの活動**の定期的な実施および、学級で日常の取り組みを行う。(学期1回のキャンペーン)
- 社会性の基礎を培う — 《**やって 感じて 分かち合う**》 —
 - ・ 好ましい人間関係育成のための、**学級活動の充実**。(学級活動の研究授業 年1回以上)
 - ・ 縦割り班を単位とした清掃活動等、異学年交流活動を計画的に実施する。(清掃：常時)
- 教育目標達成のための学校運営の推進 — 《**教職員の育成**》 —
 - ・ 体罰に関する研修会を充実させ、体罰によらない教育的な指導を確実に進める。(研修：学期1回)
 - ・ “**時間にコミットする**”をキーワードに、授業を時刻通りに始める意識を高める。(意識づけ常時)

小中一貫教育推進に向けた方策

- ・ 「なめらかに、育ちをつなぐ幼保小中の連携」を視野に入れ、保育園や中学校の教員と情報交換を行う。(保育園運動会の参観、合同研修会を通して)
- ・ 様々な交流活動を通じて、年齢の違いに応じ、互いに理解し助け合って生きていくことの大切さを学ばせる。(五中校区サミット、挨拶運動、読み聞かせ活動、ボランティア活動)
- ・ 小中連携した合同研究を推進する。(合同研究授業、校内研究への相互参加、合同研修会)